

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 エステー株式会社
 コード番号 4951 URL <http://www.st-c.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 小林 寛三
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役 (氏名) 嶋田 洋秀
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 03-5906-0733

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	35,589	—	2,313	—	1,944	—	1,115	—
20年3月期第3四半期	36,808	2.9	2,875	△6.3	2,560	△7.0	1,225	△20.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	51.12	51.07
20年3月期第3四半期	49.82	49.72

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	31,220	19,230	19,230	60.2	60.2	861.14
20年3月期	28,392	19,144	19,144	65.6	65.6	853.90

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 18,796百万円 20年3月期 18,626百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					年間
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
20年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00	
21年3月期	—	11.00	—	—	—	
21年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00	

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,200	0.4	3,000	△6.8	2,500	△9.8	1,300	0.3	59.57

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社(社名) 除外 一社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 [(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 [(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 29,500,000株 20年3月期 29,500,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 7,672,530株 20年3月期 7,686,596株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 21,821,409株 20年3月期第3四半期 24,598,597株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く市場環境は、原油価格の高騰を背景とした資材価格の上昇や、消費者の生活防衛意識の高まりを反映し、購買意欲が低調に推移するなど厳しい経営環境が続きました。

このような状況の下、当社グループは引き続き「効率化経営」「成長経営」「意識改革の推進」の3つの方針のもと、企業ブランドの確立・経営基盤の一層の強化に努めるとともに、商品やサービスを通じて、お客様の生活に「癒しと感動」を提供する企業活動を続けてまいりました。

売上面におきましては、当期も、革新的な新製品の投入や店頭サポート活動の強化による市場シェアの拡大と売上の伸長に努めましたが、厳しい消費の冷え込みの影響もあり、主力のエアケア（消臭芳香剤）部門を始め、湿気ケア（除湿剤）部門を除いたすべての部門において売上が伸び悩んだ結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は355億89百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

利益面につきましては、引き続き製造部門を中心としてコスト削減活動に取り組みましたが、原油価格高騰に伴う資材価格の上昇や「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用に伴い、売上総利益率が低下いたしました。また、マーケティング費用を抑制するなど、販売費及び一般管理費全般にわたる圧縮に努めた結果、営業利益23億13百万円（前年同期比19.5%減）、経常利益19億44百万円（前年同期比24.0%減）、四半期純利益11億15百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

『防虫・衛生関連事業』の売上高は、141億78百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

衣類ケア（防虫剤）部門は、コアブランド「ムシューダ」の一年用やクローゼット用が売上を伸ばしたほか、“消臭・香り”の機能がついた防虫剤「ビコーダ」も売上に貢献いたしました。その他の既存品の売上が伸び悩んだことから、前年同期比で減収となりました。

ハンドケア（手袋）部門は、極薄ビニール手袋や使いきりポリ手袋などが順調に売上を伸ばしましたが、業務用ニトリルゴム手袋の売上低迷や、海外市場での需要の落ち込みなどにより、前年同期比で減収となりました。

サーモケア（カイロ）部門は、前シーズン終了後の返品抑制政策が奏効したものの、暖冬の影響等により、前年同期比で減収となりました。

『家庭環境関連事業』の売上高は、214億11百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

エアケア（消臭芳香剤）部門は、コアブランドである「消臭力」や新製品の電池式自動消臭スプレー「自動でシュパッと消臭プラグ」が売上を伸ばしたほか、冷蔵庫用「脱臭炭」も売上、シェアともに伸長いたしました。その他の既存品の売上が低調に推移したことから前年同期比で減収となりました。

湿気ケア（除湿剤）部門は、梅雨時に降水量が多かったこともあり「ドライペット スキット」を中心に売上が大幅に伸長いたしました。

ホームケア（その他）部門は、家庭向け高機能マスク「ネクスケア マスク プロ仕様」が好調に売上を伸ばしました。また、「米唐番」や「スコッチガード」の売上が堅調に推移するとともに、自動食器洗い機専用洗剤「フレッシュアップ」も売上に貢献いたしました。前連結会計年度までの販売受託契約商品の売上をカバーできなかったことなどにより、ホームケア部門全体では大幅な減収となりました。

各カテゴリー別の売上高は以下のとおりであります。

カテゴリー	売上高	前年同期比
衣類ケア（防虫剤）	7,051百万円	1.0%減
ハンドケア（手袋）	2,452百万円	5.2%減
サーモケア（カイロ）	4,674百万円	2.4%減
エアケア（消臭芳香剤）	16,075百万円	3.8%減
湿気ケア（除湿剤）	2,421百万円	12.5%増
ホームケア（その他）	2,915百万円	15.6%減

なお、前年同期比較に関する情報は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して28億27百万円増加し、312億20百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加20億29百万円、受取手形及び売掛金の増加12億74百万円、有価証券・投資有価証券の減少3億76百万円、棚卸資産の増加2億24百万円、建物及び構築物の減少1億4百万円、機械装置及び運搬具の減少1億53百万円であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して27億41百万円増加し、119億89百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加31億22百万円、未払費用の減少2億53百万円、未払法人税等の減少1億96百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して86百万円増加し、192億30百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少3億8百万円、利益剰余金の増加6億8百万円、為替換算調整勘定の減少1億50百万円、少数株主持分の減少1億円等であります。以上の結果、自己資本は187億96百万円、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して5.4%減少し、60.2%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比較して23億30百万円増加し、75億14百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は32億76百万円（前年同期は34億17百万円の獲得）となりました。収入の主な内訳は税金等調整前四半期純利益19億65百万円、減価償却費6億1百万円、仕入債務の増加額31億38百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額12億54百万円、たな卸資産の増加額2億74百万円、法人税等の支払額8億80百万円であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は3億76百万円（前年同期は4億18百万円の獲得）となりました。収入の主な内訳は、有価証券の売却による収入4億円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出4億円、有形固定資産の取得による支出3億18百万円であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は5億32百万円（前年同期は65億90百万円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払4億80百万円によるものであります。

なお、前年同期比較に関する情報は参考として記載しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、平成20年4月30日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき重要な事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は113,675千円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ20,423千円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、これにより、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

(追加情報)

有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び国内連結子会社の機械装置の耐用年数については、第1四半期連結会計期間より、法人税法の改正を契機として見直しを行い、一部機械装置について変更しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の売上総利益は10,444千円、営業利益は10,718千円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ11,421千円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,037,759	6,007,842
受取手形及び売掛金	5,571,437	4,297,388
有価証券	783,600	493,390
商品及び製品	4,292,230	4,020,855
仕掛品	152,947	165,908
原材料及び貯蔵品	399,756	433,700
繰延税金資産	224,968	362,259
その他	284,821	317,332
貸倒引当金	△22,681	△18,911
流動資産合計	19,724,840	16,079,766
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,243,587	2,348,450
機械装置及び運搬具(純額)	816,133	969,610
工具、器具及び備品(純額)	300,526	340,402
土地	3,366,134	3,392,026
建設仮勘定	22,491	19,560
有形固定資産合計	6,748,874	7,070,050
無形固定資産		
投資その他の資産	503,317	457,256
投資その他の資産		
投資有価証券	2,322,372	2,988,926
長期貸付金	107,227	120,585
繰延税金資産	415,502	291,182
その他	1,408,030	1,425,904
貸倒引当金	△9,687	△41,153
投資その他の資産合計	4,243,444	4,785,444
固定資産合計	11,495,636	12,312,751
資産合計	31,220,476	28,392,518

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,652,561	4,530,421
未払金	1,871,469	1,866,022
未払費用	275,086	528,552
未払法人税等	194,720	390,949
未払消費税等	55,655	29,744
返品調整引当金	106,700	155,300
その他	154,152	79,685
流動負債合計	10,310,346	7,580,674
固定負債		
退職給付引当金	1,206,515	1,201,575
役員退職慰労引当金	92,008	84,558
再評価に係る繰延税金負債	380,774	380,774
その他	—	585
固定負債合計	1,679,298	1,667,494
負債合計	11,989,644	9,248,168
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,065,500	7,065,500
資本剰余金	7,067,815	7,067,815
利益剰余金	16,441,463	15,833,132
自己株式	△11,061,937	△11,082,658
株主資本合計	19,512,841	18,883,789
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	233,684	541,808
土地再評価差額金	△549,593	△548,902
為替換算調整勘定	△400,455	△250,183
評価・換算差額等合計	△716,364	△257,276
新株予約権	45,195	27,956
少数株主持分	389,160	489,880
純資産合計	19,230,832	19,144,349
負債純資産合計	31,220,476	28,392,518

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	35,589,667
売上原価	20,888,876
返品調整引当金戻入差額	48,600
差引売上総利益	14,749,391
販売費及び一般管理費	12,435,422
営業利益	2,313,968
営業外収益	
受取利息	23,978
受取配当金	50,215
仕入割引	159,205
その他	175,757
営業外収益合計	409,157
営業外費用	
支払利息	6,779
売上割引	635,486
持分法による投資損失	72,696
その他	63,441
営業外費用合計	778,403
経常利益	1,944,722
特別利益	
固定資産売却益	1,083
投資有価証券売却益	5,285
貸倒引当金戻入額	27,695
特別利益合計	34,064
特別損失	
固定資産除売却損	12,031
投資有価証券評価損	1,183
特別損失合計	13,215
税金等調整前四半期純利益	1,965,572
法人税、住民税及び事業税	680,106
法人税等調整額	157,309
法人税等合計	837,415
少数株主利益	12,725
四半期純利益	1,115,431

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,965,572
減価償却費	601,045
固定資産除売却損益(△は益)	10,948
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△4,102
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27,695
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,124
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,450
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△48,600
受取利息及び受取配当金	△74,193
支払利息	6,779
為替差損益(△は益)	32,727
持分法による投資損益(△は益)	72,696
売上債権の増減額(△は増加)	△1,254,276
たな卸資産の増減額(△は増加)	△274,800
仕入債務の増減額(△は減少)	3,138,941
その他	△75,963
小計	4,084,653
利息及び配当金の受取額	79,491
利息の支払額	△6,779
法人税等の支払額	△880,956
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,276,409
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△700,017
定期預金の払戻による収入	300,000
有価証券の売却による収入	400,000
有形固定資産の取得による支出	△318,318
有形固定資産の売却による収入	2,447
投資有価証券の取得による支出	△55,575
投資有価証券の売却による収入	100,518
その他	△105,961
投資活動によるキャッシュ・フロー	△376,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	—
自己株式の取得による支出	△2,347
自己株式の売却による収入	10,572
配当金の支払額	△480,056
少数株主への配当金の支払額	△60,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△532,332
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37,073
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,330,095
現金及び現金同等物の期首残高	5,184,749
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,514,844

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	防虫・衛生関連事業 （千円）	家庭環境関連事業 （千円）	計（千円）	消去又は全社 （千円）	連結（千円）
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	14,178,071	21,411,596	35,589,667	—	35,589,667
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,178,071	21,411,596	35,589,667	—	35,589,667
営業利益	1,272,706	1,041,262	2,313,968	—	2,313,968

- (注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の種類及び販売市場等の類似性を考慮して、区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
防虫・衛生関連事業	防虫剤、手袋、カイロ
家庭環境関連事業	消臭芳香剤、除湿剤、その他

3. 会計方針の変更

（棚卸資産の評価に関する会計基準）

【定性的情報・財務諸表等】4. その他に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益が、防虫・衛生関連事業で11,173千円、家庭環境関連事業で102,501千円それぞれ減少しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

所在地別セグメント情報は、全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、その記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考資料】

前年同四半期にかかる財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	
	金 額	百分比
		%
I 売上高	36,808,571	100.0
II 売上原価	21,037,859	57.2
売上総利益	15,770,711	42.8
返品調整引当金戻入差額	31,300	0.1
差引売上総利益	15,802,011	42.9
III 販売費及び一般管理費	12,926,793	35.1
営業利益	2,875,218	7.8
IV 営業外収益	569,634	1.6
V 営業外費用	884,380	2.4
経常利益	2,560,472	7.0
VI 特別利益	7,128	0.0
VII 特別損失	301,229	0.8
税金等調整前四半期純利益	2,266,370	6.2
法人税、住民税及び事業税	822,984	2.3
法人税等調整額	182,603	0.5
少数株主利益	35,388	0.1
四半期純利益	1,225,393	3.3

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	前第3四半期連結累計期間
	(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,266,370
減価償却費	675,491
固定資産除売却損益(益:△)	6,647
投資有価証券売却・評価損益(益:△)	10,169
貸倒引当金の増減額(減少:△)	318
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△ 10,140
役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)	△ 16,041
返品調整引当金の増減額(減少:△)	△ 31,300
受取利息及び受取配当金	△ 63,762
支払利息	1,773
為替差損益(差益:△)	16,819
持分法による投資損益(益:△)	72,440
売上債権増減額(増加:△)	△ 1,720,486
たな卸資産増減額(増加:△)	7,121
仕入債務増減額(減少:△)	3,566,073
その他の他	△ 122,374
小計	4,659,121
利息及び配当金の受取額	78,119
利息の支払額	△ 1,773
法人税等の支払額	△ 1,317,818
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,417,649
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金(3ヶ月超)預入による支出	△ 300,034
有価証券の取得による支出	△ 417,557
有価証券の売却による収入	1,413,168
有形固定資産の取得による支出	△ 367,244
有形固定資産の売却による収入	0
投資有価証券の取得による支出	△ 260,563
投資有価証券の売却による収入	375,207
その他の他	△ 24,886
投資活動によるキャッシュ・フロー	418,089
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	-
自己株式の取得による支出	△ 5,962,643
自己株式の売却による収入	15,897
配当金の支払額	△ 567,495
少数株主への配当金の支払額	△ 76,069
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,590,310
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	3,090
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 2,751,481
VI 現金及び現金同等物の期首残高	8,111,919
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	5,360,438

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

(単位:千円)

	防虫・衛生 関連事業	家庭環境 関連事業	計	消 去 又は全社	連 結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	14,492,884	22,315,687	36,808,571	-	36,808,571
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	14,492,884	22,315,687	36,808,571	-	36,808,571
営業費用	13,087,531	20,845,821	33,933,353	-	33,933,353
営業利益	1,405,352	1,469,865	2,875,218	-	2,875,218

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の種類及び販売市場等の類似性を考慮して区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
防虫・衛生関連事業	防虫剤、手袋、カイロ
家庭環境関連事業	消臭芳香剤、除湿剤、その他

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

所在地別セグメント情報は、全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、その記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しております。